

# 新しい大阪の船出へ

## 「民意の声」が懇親会



新しい大阪の船出を記念して開かれた  
「民意の声」の懇親会=27日、大阪市

政治団体「民意の声」は27日夜、大阪市内のホテルで「新しい大阪の船出を記念する懇親会」を開きました。大阪市の廃止・解体の是非を問う住民投票(5月17日)で大阪市をなくすなど立ち上がりった政党や市民団体

の代表らが一堂に会

し、「共産党から自民党まで」「左端から右端まで」という言葉が飛び交うなか、ともに新しい大阪の発展をめざし懇談しました。

「民意の声」の浅野秀弥代表が「5月17日、われわれは勝ちました」とあいさつすると、参加者から大歓声。浅野氏は「ほんとうに大阪を愛する人々といっしょに、新しい市長、知事を決め、大阪を発展させていきたい。これからが勝負です」と呼びかけました。

大阪市議会の自民党、公明党、日本共産いの代表が「関西の中核である大阪市の力

をさらに強め、都市内分権、都市間連携を進め、関西全体の発展をけん引したい」(自民党市議団の柳本顕幹事長)とそれぞれあいさつ。

日本共産党市議団の山中智子幹事長は「一堂に会することはあり得なかった人たちが集まって頑張ったからこそ大きな勝利です」と振りかえり、大阪市の新しい船出について「どんな問題でも住民のみなさんが主人公というモノサシを握って離さなければ、そんなに大きく意見が違うことなくいけるのではないか。賛成した人の声も受け止め、議会も一生懸命議論していくべきなんとした答えを見つけることができるのではないか」とのべました。

日本共産党の清水忠史衆院議員らも参加し、あいさつしました。